

御報告事項について

目次

(1) 本年度ご説明・ご議論いただく事項について	3
(2) BSL-4 施設建設工事の状況について	5
(3) 令和元年度「長崎大学のBSL4施設を中核とする感染症研究拠点の 形成に係る経費」の実績について	9
(4) 第8回長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について	11

地域連絡協議会において本年度に
ご説明・ご議論いただく事項

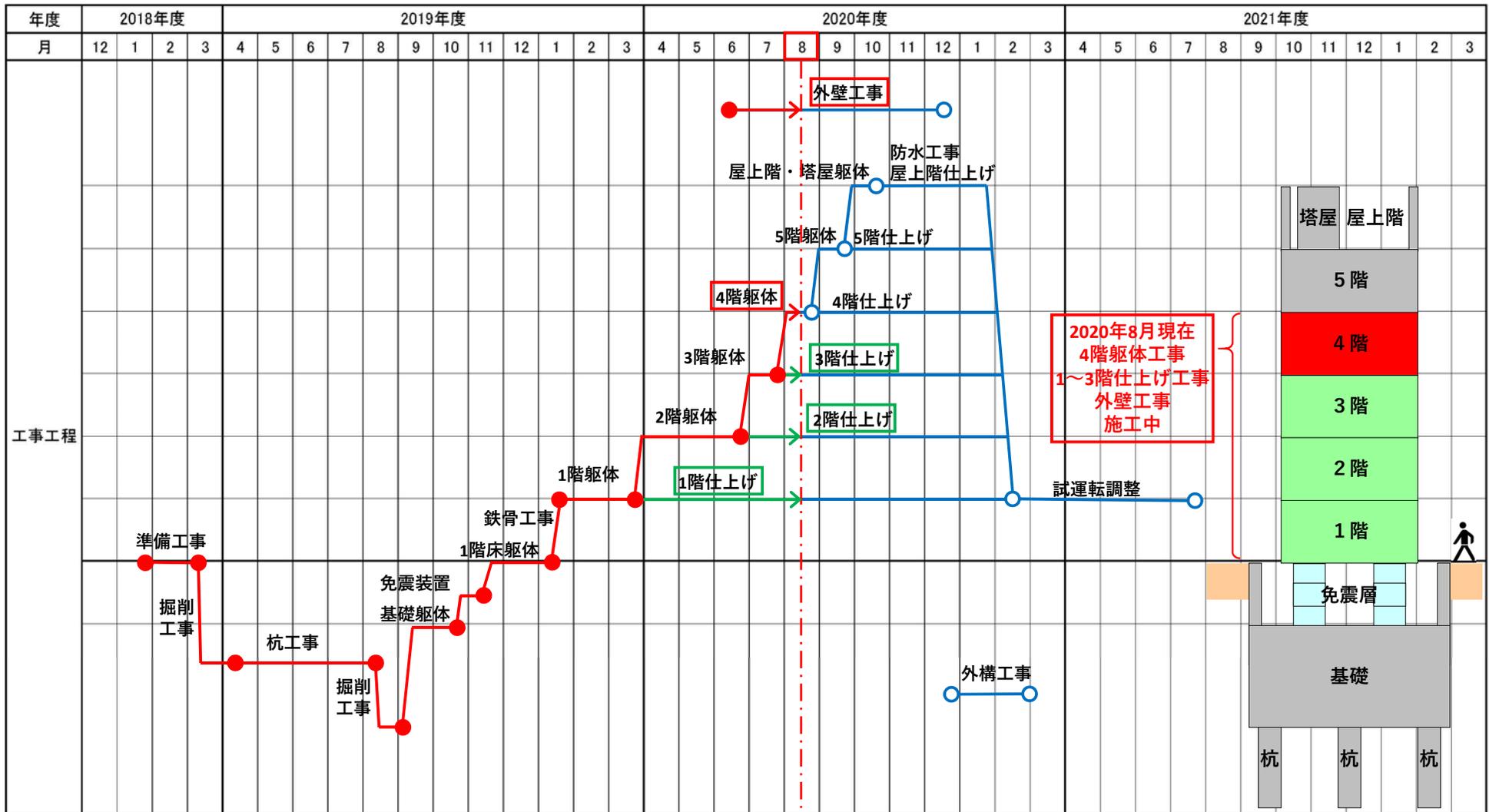
地域連絡協議会において、本年度に本学からご説明し、また委員の皆様にご議論いただく事項としては、現時点で以下の通り予定しております。

その際には、本学からできる限り具体的な情報を提供した上で、ご理解・ご議論をいただき、そうしたご議論の結果については、本学の計画に反映させてまいります。

本年度に主にご説明・ご議論いただく事項（予定）

- ・ 施設建設工事の状況
- ・ 安全管理に向けた施設運用に関する事項
- ・ 感染症共同研究拠点における研究の内容等
- ・ その他

長崎大学（坂本1）実験研究棟新営工事スケジュール（2020年8月現在）



5

【備考】

- 躯体工事 : 柱や梁、床などの建物の骨組みを作る工事
 本建物は鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）のため、以下の流れで行う。
 ①鉄筋を組む ②コンクリートを流し入れる型枠を建てる ③コンクリートを流し込む（打設）
 「1階躯体」は1階の柱、壁、天井（2階の床）のコンクリートを作る工事を示す。
- 仕上げ工事 : 各階の内装工事（ボード張りや塗装など）及び設備工事（電気設備、空調設備など）を示す。
- 外構工事 : 建物の外回りの工事（フェンス設置、舗装など）を示す。
- 塔屋 : エレベーターの機械室などで屋上に突き出した部分を示す。

長崎大学（坂本1）実験研究棟新営工事
進捗状況報告（2020年8月現在）



施工状況全景（6/27撮影）



施工状況全景（7/22撮影）

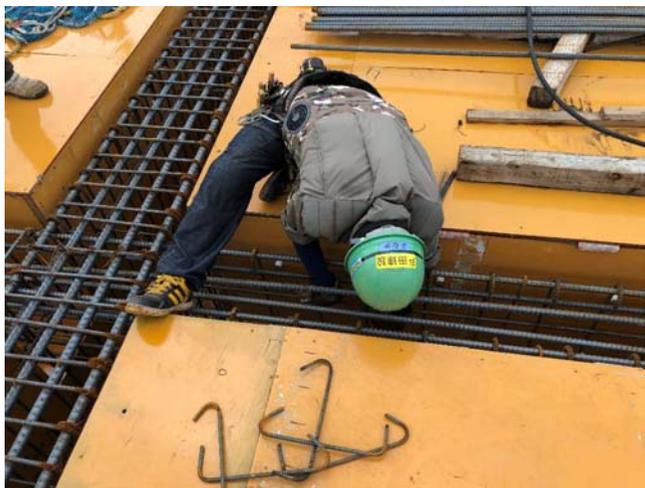


施工状況全景（6/22撮影）



施工状況全景（7/29撮影）

長崎大学（坂本1）実験研究棟新営工事
進捗状況報告（2020年8月現在）



4階梁鉄筋組立状況（7/8撮影）



4階柱鉄筋組立状況（7/20撮影）



4階壁鉄筋組立状況（7/25撮影）

【鉄筋工事施工状況】



4階床スラブ型枠施工状況（7/8撮影）



4階壁型枠施工状況（7/25撮影）



5階梁型枠施工状況（7/30撮影）

【型枠工事施工状況】

長崎大学（坂本1）実験研究棟新営工事 進捗状況報告（2020年8月現在）



内装工事施工状況（7/9撮影）



内装工事施工状況（7/28撮影）

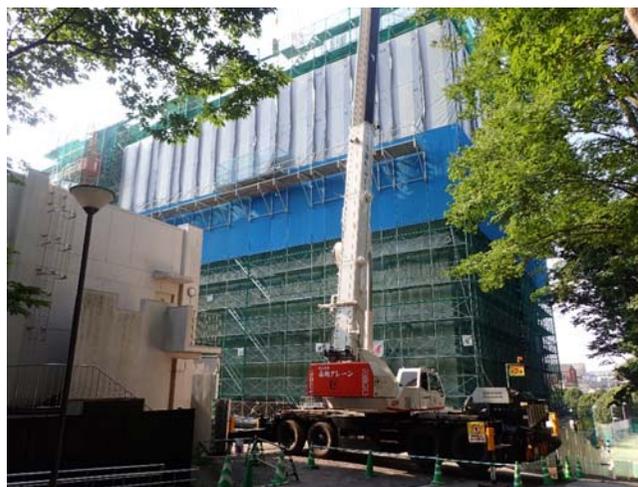


内装工事施工状況（7/28撮影）

【内装工事施工状況】



仮設足場組立状況（7/30撮影）



仮設足場組立状況（7/30撮影）



仮設足場組立状況（7/30撮影）

【仮設工事施工状況】

令和元年度「長崎大学のBSL4施設を中核とする
感染症研究拠点の形成に係る経費」の実績について

○感染症研究革新イニシアティブ（J-PRIDE）

（実績（支出項目等））

（単位：千円）

人件費	25,115
研究経費 （内訳）	74,885
・ 工具機器・備品費（18,922千円） ※バイオハザードセフティキャビネット、フリーズ超低温槽、超低温フリーザー、CO2インキュベーター等	
・ 業務委託費（27,300千円） ※分担機関への研究委託費等	
・ 消耗品費（10,913千円） ※研究で用いる器具、試料、試薬等	
・ 職員旅費（2,298千円） ※国内・海外出張旅費	
・ 賃借料（2,004千円） ※学内研究室の賃借料	
・ その他（13,448千円） ※大学全体経費への拠出分、光熱水料、修繕費、印刷製本費等	
施設整備費	2,030,000
合計	2,130,000

※予算額

- ・ 感染症研究革新イニシアティブ（J-PRIDE） 約11億5千万円
- ・ 同上（平成30年度から令和元年度に繰越した予算額） 9億8千万円

○国立大学法人等施設整備費補助金

（実績（支出項目等））

（単位：千円）

施設整備費	367,097
-------	---------

※予算額（残りは令和2年度に繰越）

- ・ 国立大学法人等施設整備費補助金 約8億3千万円

○国立大学法人先端研究等施設整備費補助金

（実績（支出項目等））

（単位：千円）

工具機器・備品費 ※研究機器（動物飼育装置関連器材等）	33,541
--------------------------------	--------

※予算額（残りは令和2年度に繰越）

- ・ 国立大学法人先端研究等施設整備費補助金 約8億6千万円

○国立大学法人運営費交付金

(実績 (支出項目等))

(単位：千円)

人件費	120,707
運営・研究経費 (内訳)	91,574
・ 工具機器・備品費 (63,693 千円) ※研究機器 (フローサイトメーター、フロア型超遠心機等)	
・ 業務委託費 (2,014 千円) ※テープ起こし、HP 保守等委託費、ポスティング業務等	
・ 消耗品費 (6,608 千円) ※事務機器 (机、保管庫等)、事務用品 (コピー用紙、文具等)	
・ 職員旅費 (7,023 千円) ※国内・海外出張旅費	
・ 広告宣伝費 (2,442 千円) ※各種ポスター・チラシ印刷、中吊り広告等	
・ 報酬謝金費 (3,454 千円) ※諸会議委員の謝金等	
・ 印刷製本費 (143 千円) ※複写機 (プリンター) リース料等	
・ 建物付属設備 (1,507 千円) ※実験室修繕等	
・ その他 (4,690 千円) ※通信運搬費、光熱水料、図書費等	
合計	212,281

※予算額

・ 国立大学法人運営費交付金

約 2 億 1 千万円

◎人件費は、教職員の業務実態等に応じ、感染症研究革新イニシアティブ、運営費交付金のそれぞれ又は双方から支出。感染症共同研究拠点教職員のうち延 30 名の人件費の総計。

【参考】全体予算額

●令和元年度 BSL4 施設を中核とする感染症研究拠点の形成に係る予算額：

約 30 億 5 千万円

(うち、施設設備の整備に係る予算額：

約 27 億 4 千万円)

長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会について

○委員会の目的

「長崎大学の高度安全実験施設(BSL4施設)整備に係る国の関与について」(平成28年11月17日関係閣僚会議決定)に基づき、長崎大学における高度安全実験施設(BSL4施設)の整備に当たり、大学が実施する安全性の確保と住民の理解などに向けた取組について第三者の立場からチェックすることを目的とする。

○構成員

寛 淳夫	工学院大学建築学部教授
春日 文子	国立環境研究所特任フェロー
加藤 信介	東京大学生産技術研究所教授
河本 志朗	日本大学危機管理学部教授
小松原 明哲	早稲田大学理工学術院教授
◎笹川 千尋	千葉大学真菌医学研究センター所長
平尾 覚	西村あさひ法律事務所弁護士
平川 秀幸	大阪大学コミュニケーション・デザインセンター教授
堀 賢	順天堂大学大学院医学研究科教授

◎主査

○第8回監理委員会(令和2年2月21日)

■議題

- (1)感染症共同研究拠点実験棟(BSL-4施設)建設工事の状況について
- (2)安全確保の方策等に関する検討状況等について
- (3)地域における理解促進に向けた取組について
- (4)その他

■委員の主な御意見

- ・BSL4施設の安全管理体制には、委員会等の組織だけでなく、BSL4施設において病原体を取り扱う職員等も位置付けられていることをわかるようにすべき。
- ・実験室の使用を制限する場合、必要に応じて学長が命じることとなっているが、災害などの緊急時に即時に対応できるような規定も必要。
- ・地域住民に加え、中学生や高校生に対しても、病原微生物に関するリテラシーを高めるための取組を引き続きお願いしたい。
- ・地域における理解促進に向けた取組について、地域住民の方に安心していただき、無駄なストレスをかけないように、住民に寄り添った対応を引き続きご尽力いただきたい。

※第8回監理委員会における配布資料及び議事録は、以下の文部科学省HPにて公開しております。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/046/index.htm